

Organ and Violin  
**Duo Hildebrandt**

**Wachet auf**

目覚めよと呼ぶ声が聞こえ



© Tino de Wilde

**Duo Hildebrandt**

Madoka Nakamaru Violin

Wouter Dekoninck Organ

2024 **2.16** (金) 19:00 開演 (18:30 開場)

神奈川県民ホール 小ホール

一般 5,000円 大学生まで 2,000円

車椅子席 5,000円※(帯同者1名様は無料)

※車椅子席のチケットは主催者にお申し込みください

チケットお申込み

発売日 11月18日(土)

チケットかながわ 0570-015-415 (10:00-18:00)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

おかけの際は番号をお確かめのうえ  
おまちがないようお願い致します

長谷川楽器店本店

0467-85-1725  
(10:00-19:00)

J. S. バッハ  
プレリュードとフーガ ホ短調 BWV 548

F. メンデルスゾーン/ R. スミッツ編曲  
厳格な変奏曲 ニ短調 作品54

W. ドゥコーニク  
無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ  
「目覚めよと呼ぶ声が聞こえ」 他

2023年10月現在の予定です。やむを得ず変更となる場合があります。

主催 一般社団法人  
湘南ベルギーの旋風協会

後援 茅ヶ崎市



後援

ベルギー王国大使館

0467-86-9854  
湘南ベルギーの旋風協会



中丸まどか  
**Madoka Nakamaru**



デュオ ヒルデブランド  
**Duo Hildebrandt**

ワウタードゥコーニンク  
**Wouter Dekoninck**



© Tina de Wilde

**ヴ**ァイオリンを3歳より始め、瞬く間にその楽器の虜となる。幼少よりピアニストの姉である中丸あひろや仲間たちと舞台を共にし、17世紀から20世紀までにわたる幅広いレパートリーを学び楽しむ。在学中の2005年にはライブツィヒ室内管弦楽団来日の際にメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲をソリストとして共演し、絶賛を博す。東京芸術大学器楽科ヴァイオリン専攻を卒業後に同大学院古楽科バロックヴァイオリン専攻を修了。06年、文化庁及びベルギー政府の奨学金を受けベルギーに渡る。ブリュッセル王立音楽院にてシギスヴァルト・クイケンに学び、09年にディプロマを得てバロックヴァイオリン修士課程を修了する。現在はベルギーを拠点とし、コンサートミストレスとしてコンサートやCDレコーディング、テレビ放送、ラジオの収録など多数のオーケストラに招かれるほか、室内楽やソロでも活躍している。ベルギーのみならずオランダ、フランス、ドイツなどヨーロッパ各地や日本で演奏活動を行っている。またフランスのコンセルヴァトワールでヴァイオリンの歴史についての講義やマスタークラスをするなど、後進との交流と指導も積極的に行っている。

<https://www.madokanakamaru.co/>

**オ**ルガン、チェンバロ、即興演奏、そして自らオルガン曲をアレンジした作品を演奏するなどして国際的に活躍している。オルガンをベルギーのレメンス音楽大学で学び、榮譽付きディプロマを得て卒業。現在は1714年ベンゼラーによって製作されたオルガンを所有する聖ゲルトルード教会でオルガニストを務めている。特筆すべきは作曲のスキルで、ルネサンスからバロック、ロマン派までの広範なレパートリーを誇るヒルデブランド・コンソートの音楽監督を務める傍ら、自らが作曲、編曲した「[Bach]<sup>2</sup>〜編曲の芸術〜」「ザ・スピリット・オブ・ヘンデル」「メンデルスゾーンと紅茶を、シューマンとコーヒーはいかが」「バッハとルターに捧げる大ミサ1739」など各プロジェクトをヨーロッパ各地で大絶賛を博した。コンサートシリーズ「バッハ・イン・ルーヴァン」の設立者であり、ヒルデブランド・コンソートによるバッハのカンタータや受難曲、器楽曲の演奏会を定期的に行い、また自らが監督となって「聖ゲルトルード国際オルガンフェスティバル」を企画している。

<https://www.wouterdekoninck.org/>

**神**奈川民小ホールは1975年1月の開館にあわせドイツ・クライス社により建造されました。一般的な大ホールのオルガン鍵盤は客席から遙かに見上げる舞台上部のバルコニー席に設置されていますが、ここでは演奏者のプレゼンスが自然な目線で鑑賞できる位置にあるため臨場感溢れる響きの空間が客席を包み込みます。バロックからロマン派まで幅広い音楽に対応できるストップを備えたオルガンを駆使するワウター・ドゥコーニンクの魔法のレシピから生まれる多彩なレジストレーションは目眩く色彩の響きに包まれた情動を喚起して五感の覚醒を促し夢幻のうちにミュージズはユートピアへと誘います。

製作:ヨハネス・クライス社(ドイツ・ボン) 設置1974年9月  
 ストップ数30 パイプ数2024本

1882年にオルガン製作者のヨハネス・クライスが創業して以降、100年以上にわたり世界各国で多くのオルガンを建造しています。



直通通行  
 渋谷 東急みなとみらい線  
 東京 JR東海道線 横須賀線  
 新宿 JR湘南新宿ライン

みなとみらい線 横浜  
 日本大通り駅 徒歩8分  
 JR 関内  
 徒歩15分

車椅子でご来館の方へ  
 段差の少ない道順

神奈川県民ホール  
 Kenagawa Kenmin Hall  
 横浜市中区山下町3-1  
 045-662-5901  
 (9:00~17:00)

市営地下鉄 関内駅1番出口  
 JR関内駅南口